

当別赤れんが6号が
まもなく完成!!



キャッチフレーズは 「ふれあい倉庫」

当別赤れんが6号 キャッチフレーズは 「ふれあい倉庫」

昨年から行っていたJR当別駅南口前の「れんが倉庫」の改修工事がほぼ完了し、新しい施設の姿が現れてきました。

歴史ある建物を再利用するという、これまでにない試みであり、住民組織による「当別町文化創造と賑わい創出検討委員会」において検討された施設整備と利活用内容を基に、日本宝くじ協会からの助成金を使って整備を進めてきました。

町の基幹産業である農業の歴史が刻まれた農業用倉庫は、4月から「文化創造・賑わい創出・情報発信」をコンセプトとする「ふれあい倉庫」として、新たな歴史を刻んでいきます。

◎文化創造

カルチャーホールや多目的ホールを利用して多彩な活動を。

これまで町内には、舞台演出を意識して整備された施設はなく、コンサートや演劇などを開催する場合には会場に照明や音響設備を臨時的に設置していました。

「ふれあい倉庫」内のカルチャーホールには、舞台専用の照明や音響設備を設け、約150の観客席スペースを確保しているため、質の高い舞台芸術をはじめ文化的な催しの開催ができます。

また、多目的ホールは倉庫の歴史を感じることができるれんが壁ですので、使用する方のアイデアを活かして絵画や書道、各種作品などの展示会ができます。

控室には、音楽活動の幅を広げようために、ドラムやピアノを備えています。仲間同士の演奏やピアノのレッスンなど、気軽に使用することができます。

◎賑わい創出

ふれあいホールを交流の場に。

当別で作られた旬の野菜や、季節の花、米、加工品などの地場産品販売コーナーを設置して、町内外に当別産品を広くPRしていきます。

運営は、商業者、農業者、関連団体が連携を取って進めることを検討しています。より多くの皆さんに利用していただくことで、生産者と消費者の交流の場として魅力と賑わいあふれる、元気な施設にして行きます。

＝登録者募集＝

ふれあい倉庫内の地場産品コーナーに農作物、花の提供を希望する生産者の方を募集します。

【詳細は役場商工課へ】

ふれあいホール内には休憩スペースもありますので、コーヒーを飲みながら列車の時間待ちや交流の場としても利用できます。

パン工房は、レクサンド市との姉妹都市交流20周年を記念してレクサンド式パン焼き窯が設置されています。3月25日(日)からは、レクサンド市から2名のパン焼き職人が来町し、町民にパンの焼き方を伝授します。今後、多くの町民の皆さんにこの窯を利用して、パン焼き体験を行ってもらい、異国の食文化に触れていただきたいと思います。

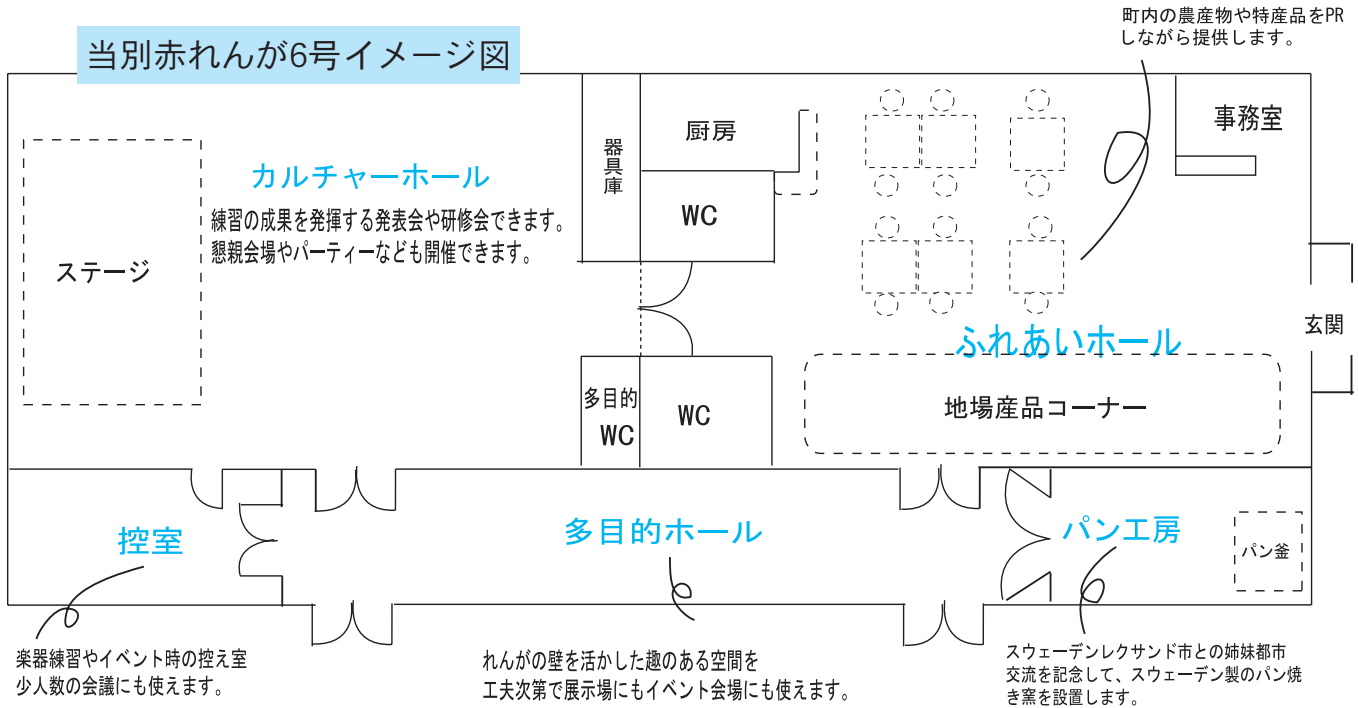


レクサンドのレンガ職人が、昨年造ったパン窯が、いよいよ稼働

◎情報発信

駅前に立地する利点を活かして、町民の皆さんや当別を訪れた方が「ふれあい倉庫」に集うことでお店の情報やイベント、観光など町の情報が得られる場にしていきます。また、ホームページで、ふれあい倉庫の情報も発信していきます。

当別赤れんが6号イメージ図



4月3日から カルチャーホールが 利用できます

◎ 4月は施設公開期間

4月30日(月)までをふれあい倉庫「施設公開期間」として、団体やサークルなどの皆さんが、施設の設備や備品などを確認したり実際に使用できる期間としますので、是非ご利用ください。

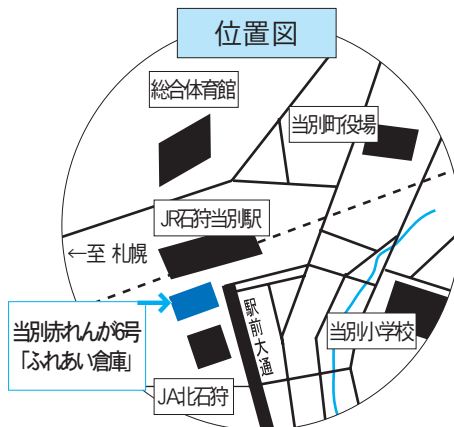
この期間は、一般の見学も自由に行うことができますので、皆さんも是非足を運んでください。

◎全館オープンは6月から

レクサンド市との姉妹都市交流20周年記念イベントも予定

6月には地場産品コーナーの展示販売などを本格的にスタートさせ、ふれあい倉庫全館がオープンします。

この倉庫では今年の夏至祭にあわせて、レクサンド市との姉妹都市交流20周年記念にちなんだイベントの開催も予定しています。



■施設利用方法

利用の申請が必要な場所は、カルチャーホール多目的ホール、控室、パン工房で、使用料がかかります。料金などの詳細は決定次第お知らせします。

※ 4月3日～30日は「施設公開期間」。この間、団体、サークル活動、営利を目的としない利用は無料です。

■利用申し込み日時

3月20日(火) 受付開始
平日の9時～17時

- ・場所 役場商工課(2階)
- ・申請書 商工課・太美出張所に備え付け(4月からは町ホームページからダウンロードできます)

■農産物提供生産者登録

3月15日(木)～26日(月)

▼問合せ・詳細

役場商工課(☎23-3129)

みんなで積極的に活用しよう



町内でイベント主催を行っている、ふるさとシンフォニー当別の代表高橋千枝子さんにお話を聴きました

—完成したれんが倉庫に一言

古くから米を大切に保管して来た場所が、文化施設に生まれ変わることはとても意義があると思います。どのような施設になるのか本当に楽しみです。

—施設に期待することは?

今まで、当別で演劇やコンサート開催の際は、場所探しから始めていました。照明、音響施設が整ったこの施設で、多くのイベントが行われ、町の皆さんに親しまれるホールになると良いですね。

—実際に利用を考えていますか?

今、幅広い年齢層が楽しめる、歌や三味線、和太鼓のライブコンサートの開催を4月7日(土)に計画しています。生で見る迫力や暖かさが味わえるような催しにしたいですね。また、月に1度、昔の歌声喫茶のような集いが出来たら良いと思案中です。

【ふるさとシンフォニー当別のイベント問い合わせは高橋さん(☎23-3412)まで】